



労働時間制度に関する 緊急アンケート調査結果（速報）

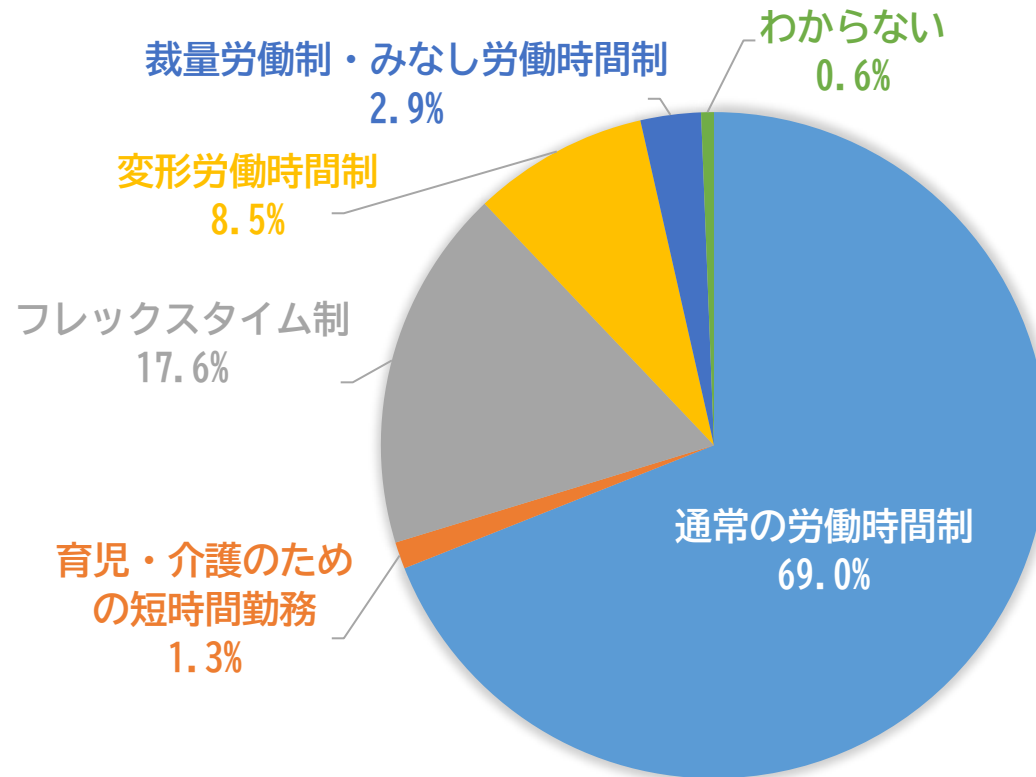
2026年9月17日
日本労働組合総連合会(連合)

調査概要

- 調査名：労働時間制度に関する緊急アンケート調査
- 調査目的：労働者の労働時間の状況や、
労働時間制度に関するニーズの把握のため
- 調査対象：全国の雇用労働者
(正社員、パート・契約等、派遣など雇用形態は問わない)
- 調査期間：2026年7月7日(火)～8月21日(金)
- 調査方法：WEB調査
- 有効回答：19,638名
- 調査協力：労働調査協議会

労働時間制度の適用状況

- 「通常の労働時間制」 69.0%、「フレックスタイム制」 17.6%、「変形労働時間制」 8.5%、「裁量労働制・みなし労働時間制」 2.9%などとなっている

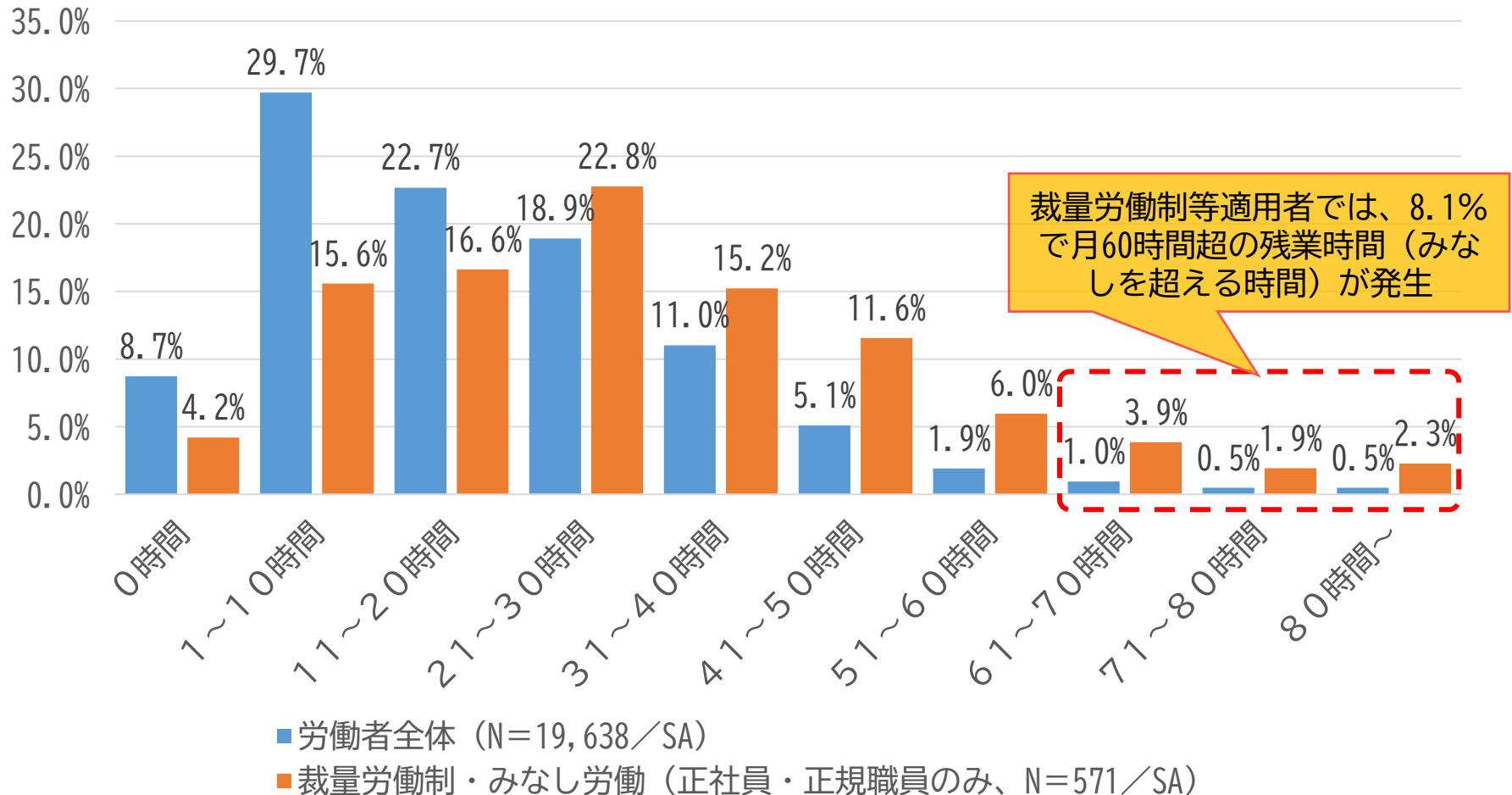


※ 裁量労働制・みなし労働時間制には「事業場外みなし労働時間制」を含む

N=19,638/SA

平均的な残業時間（1か月）

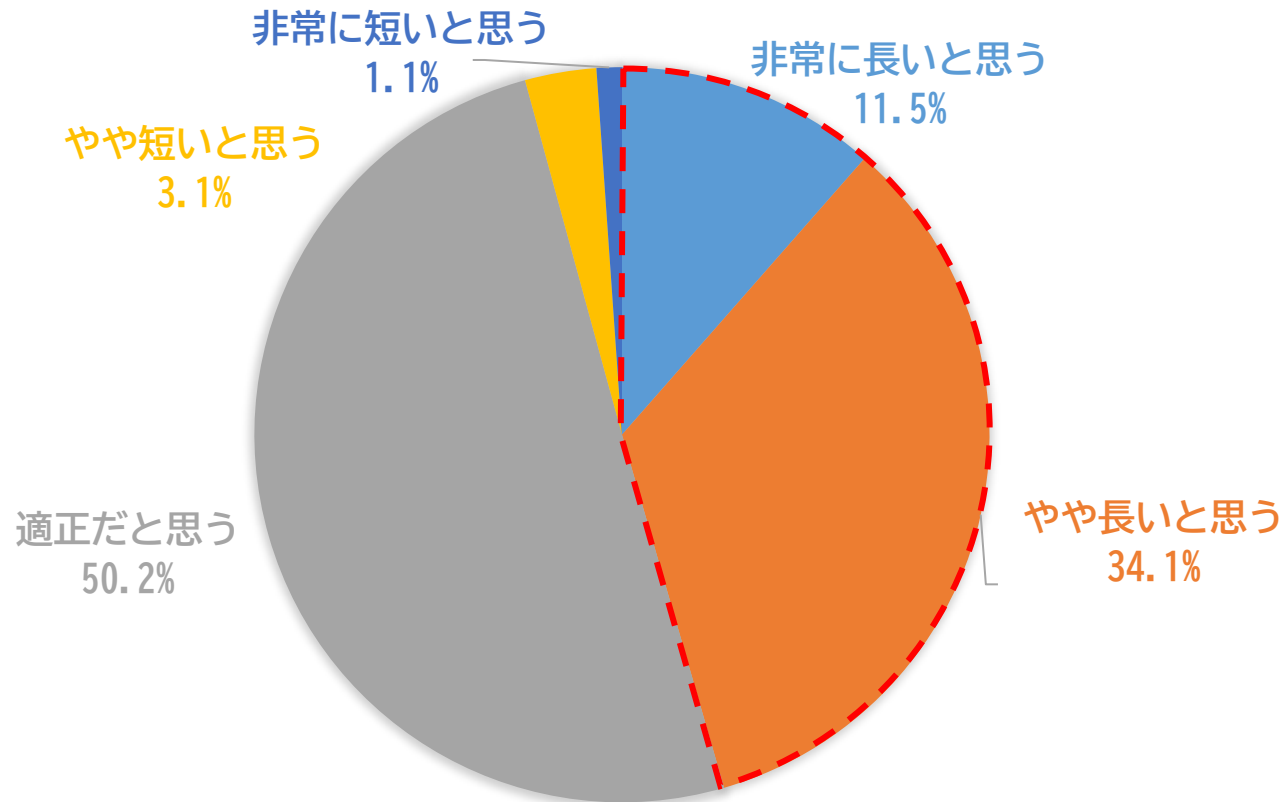
- 月60時間超の残業が発生している労働者は2%
- ただし、裁量労働制等適用労働者では8.1%と、長時間労働の傾向がある



残業時間に対する認識

- 45.5%の労働者が、残業時間が「長い」と感じている

「平均的な残業時間についてどのように感じているか」

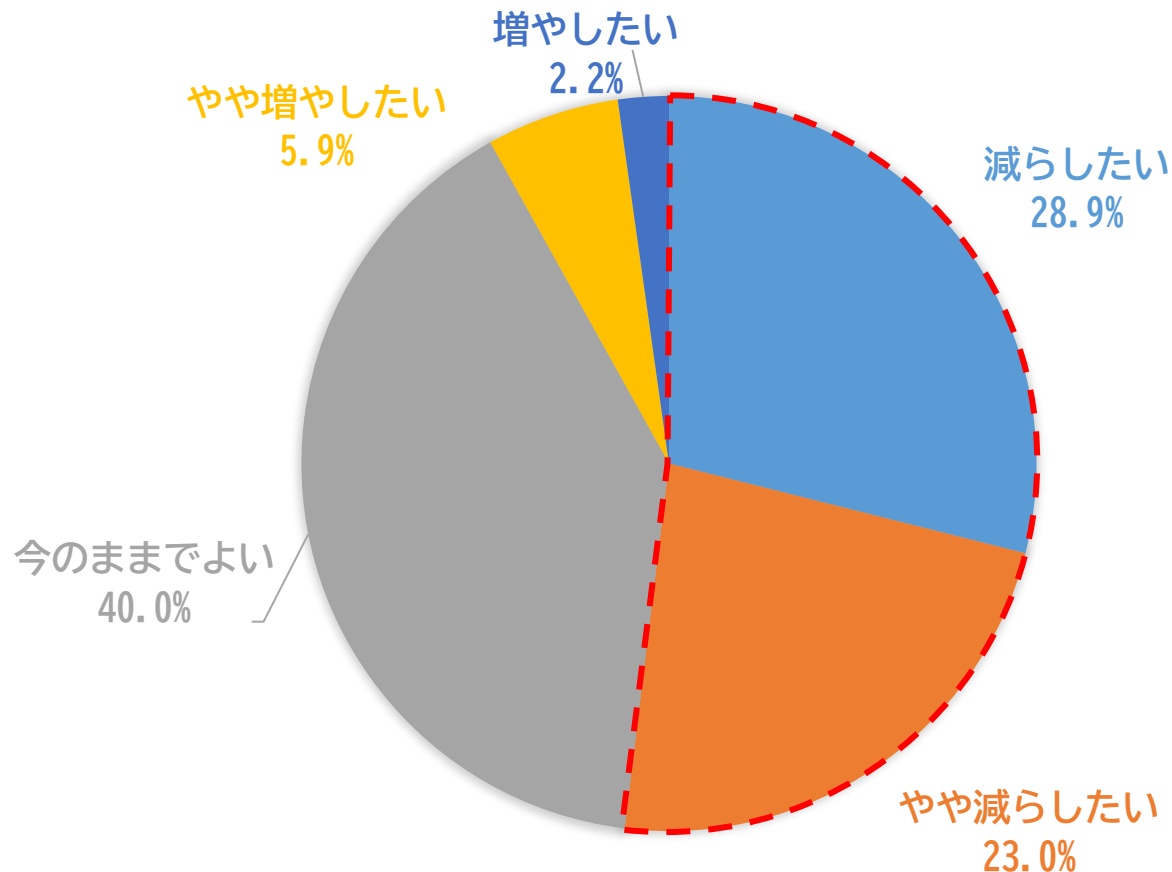


N=19,638/SA

労働時間に対するニーズ

- 労働時間を「減らしたい」が5割超、「今のままでよい」4割を含めると9割超が増やしたくないと考えている

「労働時間を増やしたいか、減らしたいか」



N=19,638/SA

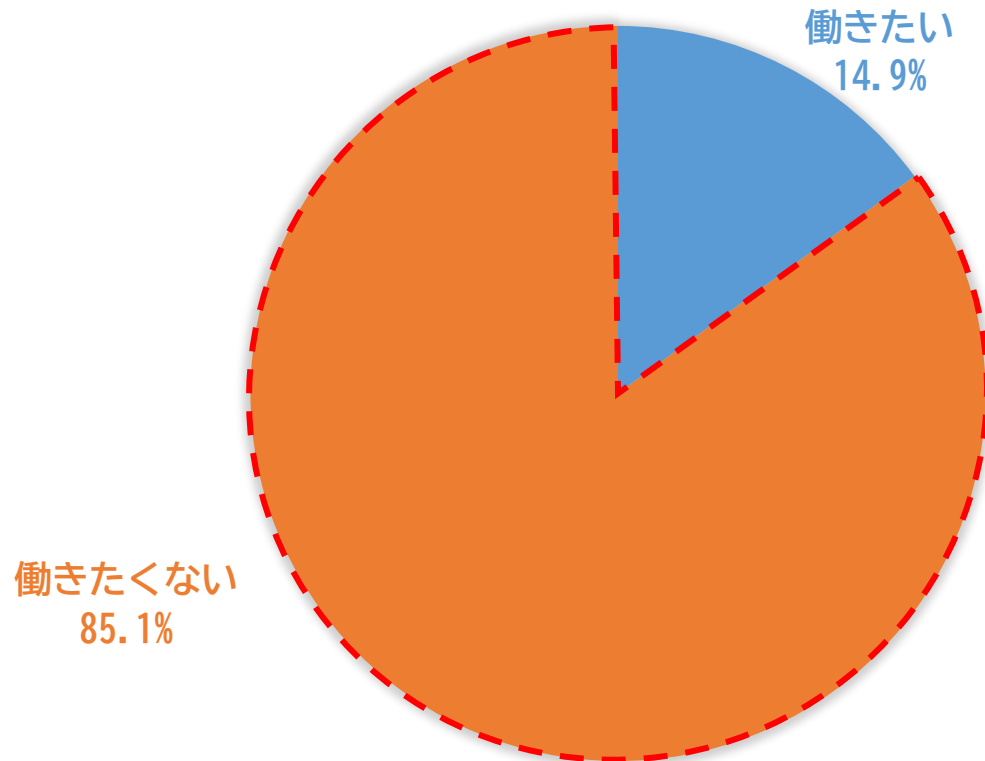


裁量労働制等で働きたいか（非適用労働者）



- 裁量労働制・みなし労働以外で働く労働者の9割近くが「裁量労働制・みなし労働で働きたくない」

「裁量労働制・みなし労働で働きたいか」



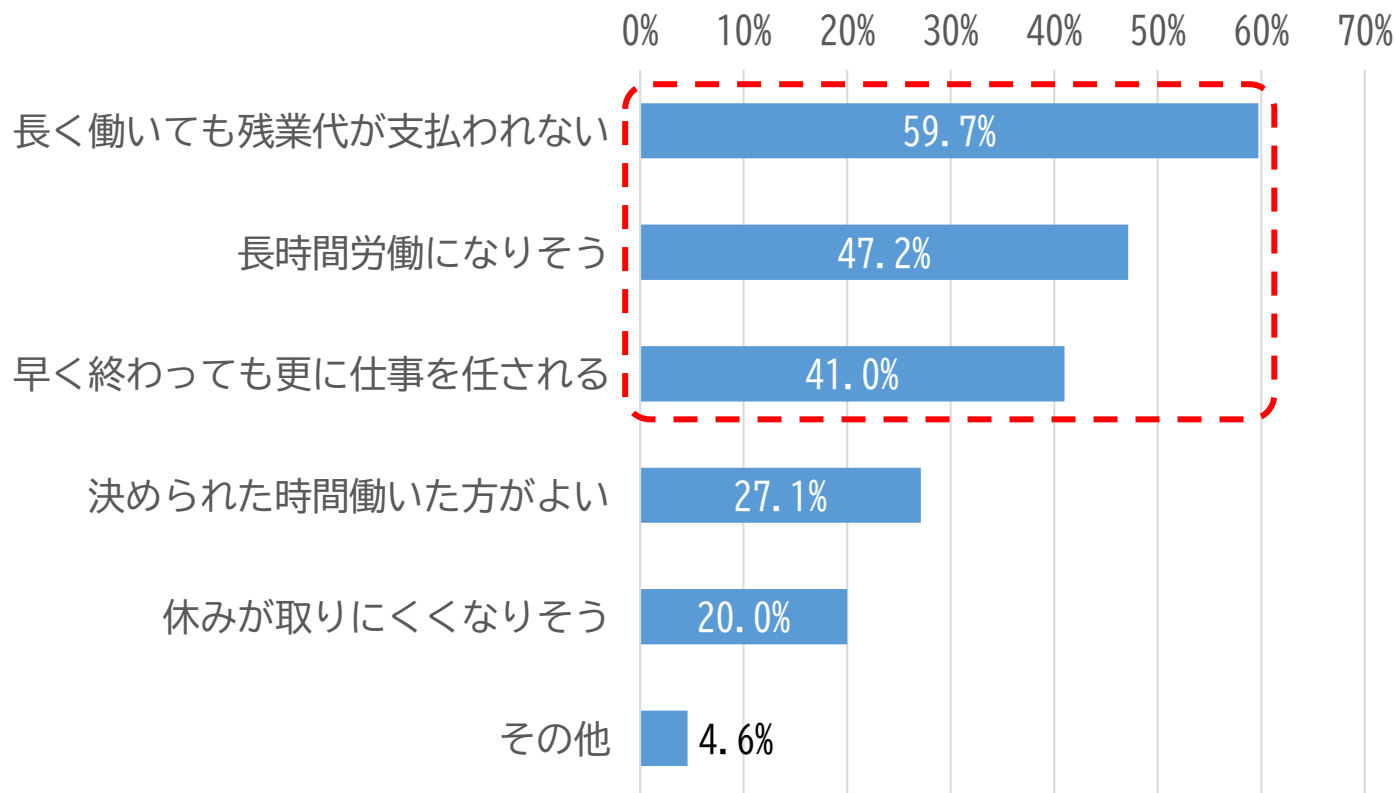
N=17,930（正社員・正規職員のみ）／SA

裁量労働制等で働きたくない理由 (非適用労働者)



- 長時間労働や、残業代がなくなることへの懸念が大きい

「裁量労働制・みなし労働で働きたくない」と回答した理由として、
あてはまるものをすべて選んでください

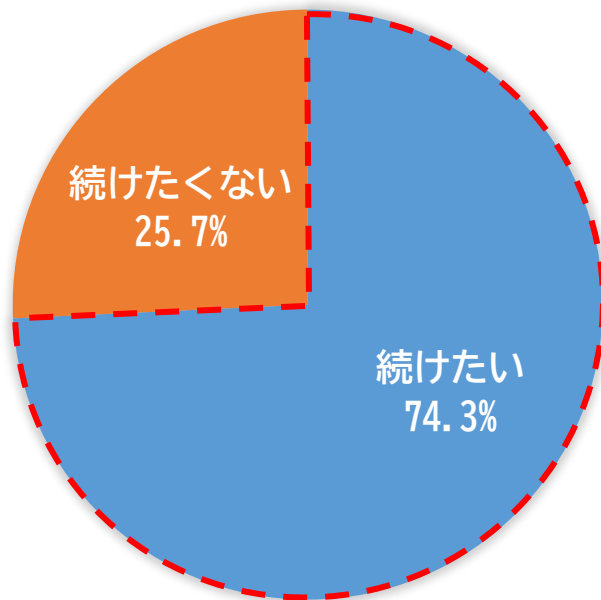


N=15,251（正社員・正規職員のみ）／MA

裁量労働制等を続けたいか（適用労働者）

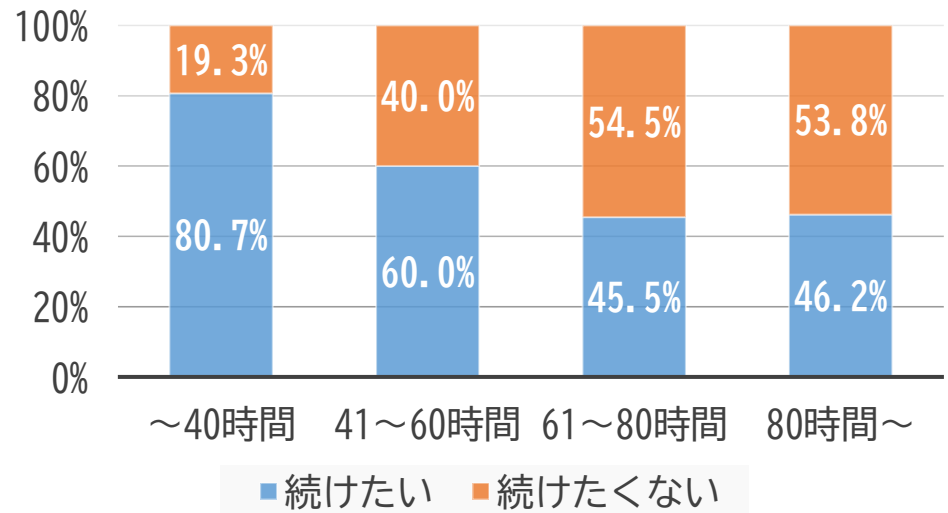
- 裁量労働制・みなし労働で働く労働者の7割台が「続けたい」
- 残業時間が長くなるほど、裁量労働制等を「続けたくない」割合が高くなる傾向がある

「裁量労働制・みなし労働で
働き続けたいか」



N=571（正社員・正規職員のみ）／SA

平均的な残業時間（1か月）の区分ごとの割合



N=571（正社員・正規職員のみ）／SA

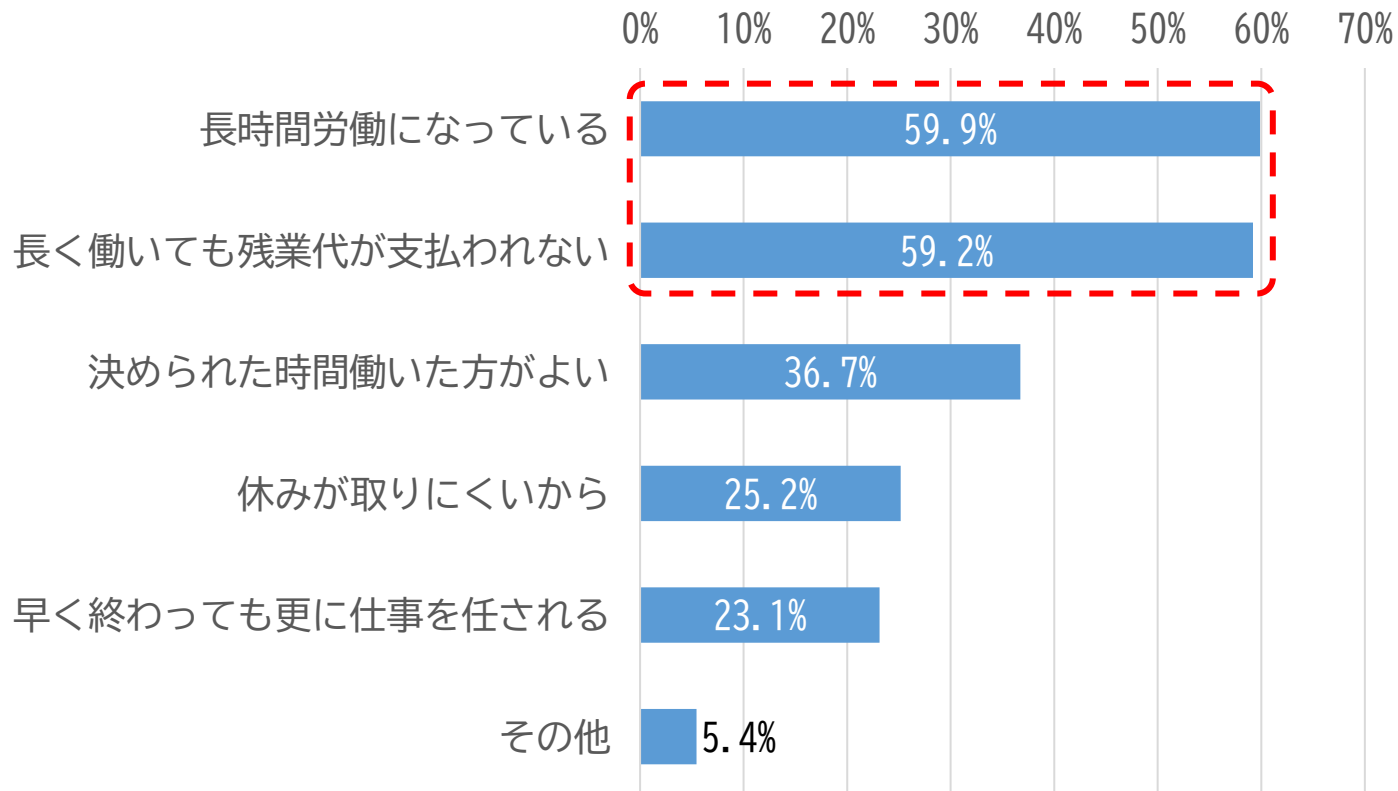
※ 上記の残業時間は「みなしを超える時間」

裁量労働制等を続けたくない理由 (適用労働者)



- 長時間労働の実態や、残業代が払われないことへの不満が大きい

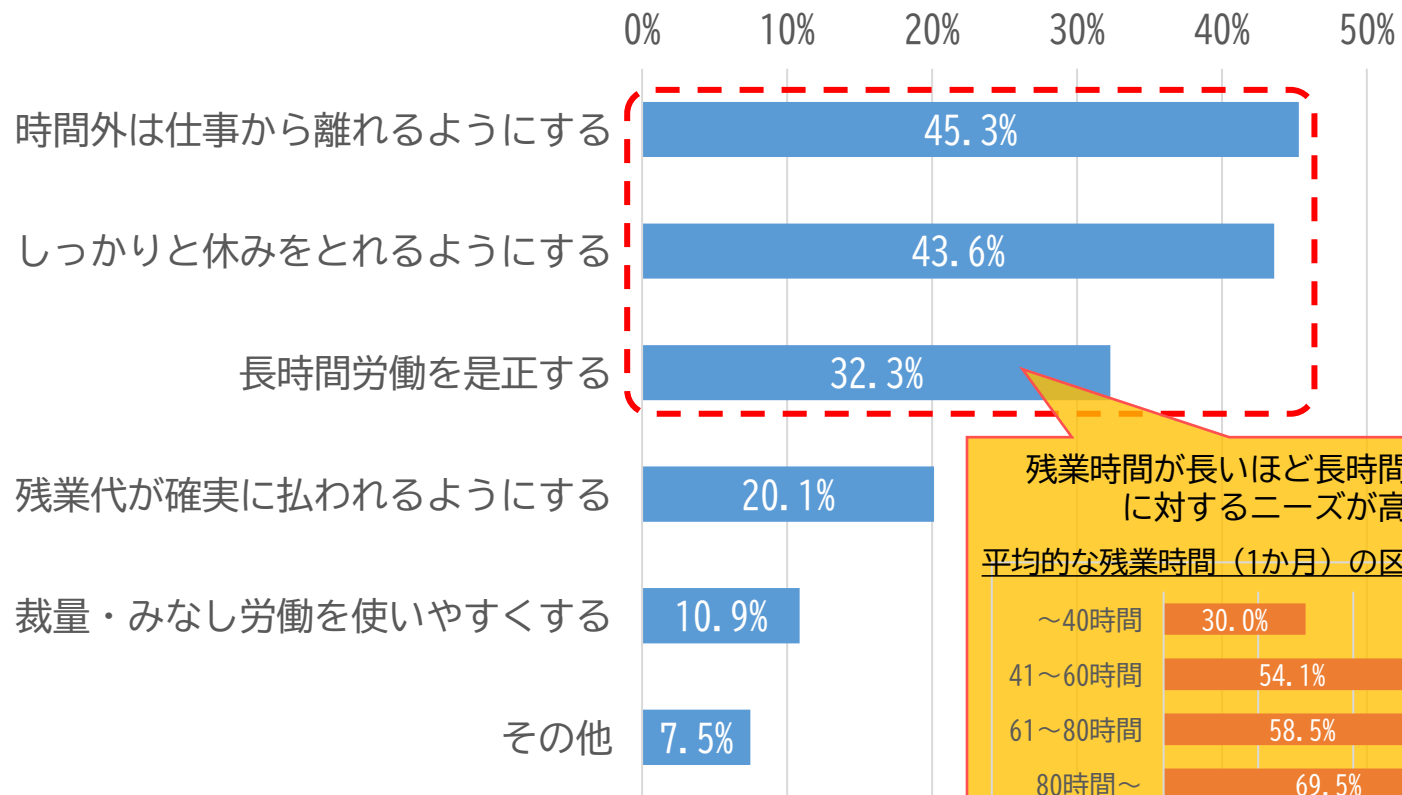
「裁量労働制・みなし労働を続けたくない」と回答した理由として、
あてはまるものをすべて選んでください



N=147（正社員・正規職員のみ）／MA

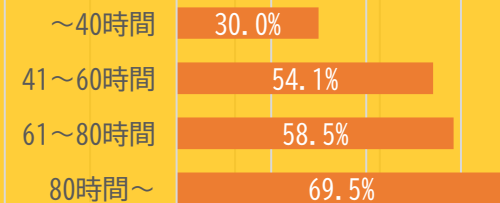
見直すべき「働き方のルール」

- 「休みのルール整備」を求める声が半数近くあり、続いて「長時間労働の是正」も3割超となっている



残業時間が長いほど長時間労働是正に対するニーズが高い

平均的な残業時間（1か月）の区分ごとの割合



N=19,638/MA



はたらくのそばで
ともに歩む

